

令和2年度 第1回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	令和2年9月16日(水) 10時20分から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：平間、駒田、輿石、関、山田、佐々木、田中、雨宮、加藤、高橋、大谷 (敬称略) 事務局：根本、石塚、鶴池、村田
議 事	<p>1 活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より4～7月に開催された交通安全キャンペーンについて報告があった。 <p>2 活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より9～10月に開催予定の交通安全キャンペーンの連絡があった。 <p>3 栄区内の交通事故発生状況(栄警察署からの情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年はコロナの影響で交通事故死亡事故は昨年に比べると減少しているが、それでも、県内の交通事故死亡事故は今年全国ワースト2位となっている。 死亡事故の原因は二輪車がからんでいる事故が多い。また、歩行中の事故も多く特に75歳以上の高齢者の事故が多発している。横断歩道を渡るようにしてほしい。 9月下旬は秋の全国交通安全運動期間となる。全国運動は秋のみ行っているが、それはこの時期に一番事故が多いから。夕方暗くなるのが早い時期となるので、前照灯を早めにつけてほしい。 「自転車のルールがよろしくない」という内容の連絡がよくくる。歩道を走るときは歩行者が最優先という意識をもっとしてほしい。 <p>4 今年度のセーフコミュニティ交通安全対策分科会の取組方針</p> <p>具体的な取組として</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で活動を進めざるを得ない中、感染症拡大防止に配慮した内容でキャンペーン活動を行う。 小学生を対象にしたヘルメット着用率調査を行う。 高齢者交通安全教室の状況や様子について紹介してもらい情報共有する。 <p>5 自転車用ヘルメット着用の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年通り、区内市立小学校と区内市立保育園約6000名に啓発用チラシを配布した。(保育園：4月 小学校：6月に配布) <p>6 区内市立保育園園児の自転車用ヘルメット着用率にかかわる調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 4園約150名の保護者が回答。 子どもを自転車に同乗させる保護者は半数以下。同乗させる際は9割ほどの保護者がヘルメットを着用させている。 園児の半数以上はまだ自転車に乗らない(乗れない)が、7割ほどの園児はヘルメットを着用して自転車に乗っている。 <p>7 令和元年度スクールゾーン対策協議会で出された要望と対応結果</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールゾーン対策協議会の概要説明 各校から出された要望に対し、プラスの効果が得られるよう、各関係機関がよく対応している状況がわかる。 警察にあがる要望は横断歩道などの路面補修や交通取締り強化の内容が多い。 土木事務所にあがる要望は、車止めの設置や歩道、外側線の補修などが多い。 その他、協議会で出された質問や意見を一部紹介

	<p>8 その他意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「車止め」は歩道に車を乗り入れられないように設置しているものであり、車が突っ込んでくるのを防ぐためのものとしてつくられているのではない。埋設管が下にあると物理的に設置できないところもある。 ・このコロナ禍の中のキャンペーンでは、啓発物品の配布の折、「受け取ってくれるだろうか?」といった感覚があるが、みなさんはいかがでしょうか。
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年8月末の栄警察署管内人身交通事故発生状況（概数） ・栄区内発生の高齢運転者交通事故統計 ・令和2年度セーフコミュニティ交通安全対策分科会の取組方針 ・自転車ヘルメット着用啓発チラシ ・保育園児の自転車用ヘルメット着用率にかかわる調査結果 ・令和元年度スクールゾーン対策協議会で出された要望および対応の結果一覧